加リロ	T業高等	専門学校	開講年度	令和06年度(2024年度)	授	業科目	工業英語		
			NU CINCIA	12120112		1 12	>.			
<u>17口坐呢</u> 科目番号	IFI+K	0047			科目区分		専門 / 必何	冬		
<u> </u>		講義			単位の種別と単位	<u>一</u>	学修単位:			
開設学科			 御情報工学科		対象学年	111 21	5 5	1		
開設期		後期			週時間数		<u>5</u> 後期:2			
<u> </u>			ヨハナシロ 「な時プレ	 リント等を利用する						
<u>我们有,我们</u> 担当教員	<u>, 1</u>	堀川 紀孝	ついない、 たらり フ		'•					
<u>253 教員</u> 到達目標	1									
1. 実験手順 2. 英文スピ 3. 定番表現	頭, 説明書 ニーチを聞 見を用いて	いて 内容を]	理解できる. ンテーションができ	読み, 理解できる. きる.						
ルーブリ	ック									
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ	ベルの目	安	未到達レベルの目安		
到達目標項	目1		実験手順,説明記事等の英文を記できる.	書, 科学技術系の 読み, 正確に理解	実験手順,説明記事等の英文を記できる.	書,科学 読み,根	対析系の 現要を理解	実験手順,説明書,科学技術系の 記事等の英文を読んでも理解できない.		
到達目標項	目2		解できる.	聞いて,内容を理	英文スピーチを 解できる.			英文スピーチを聞いても,理解で きない.		
到達目標項目3			プレゼンテーショ		定番表現を用いた。 ヨンができる.			プレゼンテーションができない		
到達目標項			用いて要旨を書り	いて的確な表現を ける.	自らの研究につし	いて要旨	音を書ける	自らの研究についての要旨を書けない.		
		頁目との関係		*== ::		N = +2 '				
		祟 システム制	御情報工学科の教育	育目標 ③ 学習・教	有到達度目標 本科	4の教育	目標 ①			
教育方法	等									
概要		技術者が目 る。スピー ソコンのス	目にすることの多い -チの実例を参考に ナンライン辞書等を	\説明書,仕様書, こして,口頭での説 と活用しながら英文	ニュース, ウェブ 明を行う例として の要旨程度の文章	サイトの 短いプし を書ける	D英文に触 レゼンテー: るようにす	h, 技術英語の定番表現を身につけ ションを作成し発表する. また, パ る。		
授業の進め	方・方法	文する.	vジニアが関わる文	て章・論文を読み,	よく使われる表現	について	て理解し,	そのパターンを応用して短文を英作		
注意点		・総学問数・自然の一般を表現である。	445時間(自学自習	図15時間) \ては,日常の授業 5のとする. 対が60点以上で単位	(30時間)のための な修得となる、その)予習復)場合, :	習,課題の 各到達目標	項目の到達レベルが標準以上である		
授業の属っ		・・な・こ・・でないこ・・でない。 区 上の 区 上の 区	445時間 (自学自習時間(15時間)つい 時間を総合したも いては、合計点数 うられる。 ほは定番の表現と找 目がの興味のある分 用試験は実施しない	図15時間) ハては、日常の授業 5のとする。 対が60点以上で単位 技術的な用語を覚え 対野のニュースを読	(30時間)のための な修得となる.その ることで,ある程 むことに挑戦し,	予習復 場合, 度の読 英文を記	習,課題の 各到達目標	解答作成時間,プレゼンテーション 項目の到達レベルが標準以上である きるようになる。 ドを鍛え,単語を増やすことが必要		
授業の属っ		・・な・こ・・でないこ・・でない。 区 上の 区 上の 区	245時間(自学自2 目時間(15時間)つい 前時間を総合したも いいては、合計点数 いられる・ 話は定番の表現と 目分の興味のある分	図15時間) ハては、日常の授業 5のとする。 対が60点以上で単位 技術的な用語を覚え 対野のニュースを読	(30時間)のための な修得となる、その	予習復 場合, 度の読 英文を記	習,課題の 各到達目標	解答作成時間,プレゼンテーション 項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。 ドを鍛え,単語を増やすことが必要		
授業の属 ['] ☑ アクティ	ィブラーニ	・・な・こ・・でないこ・・でない。 区 上の 区 上の 区	445時間 (自学自習時間(15時間)つい 時間を総合したも いては、合計点数 うられる。 ほは定番の表現と找 目がの興味のある分 用試験は実施しない	図15時間) ハては、日常の授業 5のとする。 対が60点以上で単位 技術的な用語を覚え 対野のニュースを読	(30時間)のための な修得となる.その ることで,ある程 むことに挑戦し,	予習復 場合, 度の読 英文を記	習,課題の 各到達目標	解答作成時間,プレゼンテーション 項目の到達レベルが標準以上である きるようになる。 ドを鍛え,単語を増やすことが必要		
授業の属 ['] ☑ アクティ	ィブラーニ	・・な・こ・・でなり、区域とは、大学の価が業ずる、区では、大学があるが、区では、大学がある。	445時間 (自学自習時間(15時間)つい 時間を総合したも いては、合計点数 うられる。 ほは定番の表現と找 目がの興味のある分 用試験は実施しない	図15時間) ハては、日常の授業 5のとする. 対が60点以上で単位 技術的な用語を覚え 対野のニュースを読	(30時間)のための な修得となる.その ることで,ある程 むことに挑戦し,)予習復 ()場合 () 。	習,課題の 各到達目標	解答作成時間,プレゼンテーション 項目の到達レベルが標準以上である きるようになる。 ドを鍛え,単語を増やすことが必要		
授業の属 ['] ☑ アクティ	ィブラーニ	・・な・こ・・でなの価が業する、区上グ	245時間 (自学自2 間時間(15時間)つい 前時間を総合したも いいては,合計点数 いたる。 には定番の表現とお 自分の興味のある分 別試験は実施しない 図 ICT 利用	図15時間) ハては、日常の授業 5のとする. 対が60点以上で単位 技術的な用語を覚え 対野のニュースを読	(30時間)のための な修得となる。その ることで,ある程 むことに挑戦し,	予習復 度の読を記述 選 道 意 意 達 章 注 意 き き き き き き き き き き き き き き き き き き	翌,課題の各到達目標 サ書きができ 売むスピー の到達目標 原等の英文	解答作成時間,プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え,単語を増やすことが必要 □ 実務経験のある教員による授業の内容を理解できる.それらの英文		
注意点 授業の属 [®] ☑ アクティ 授業計画	ィブラーニ	・・な・こ・・でなの価が業ずる、区野学の価が業ずる、区外ののでは、大力を対している。	245時間 (自学自2 間時間(15時間)つい 前時間を総合したも いいては,合計点数 いたる。 には定番の表現とお 自分の興味のある分 別試験は実施しない 図 ICT 利用	図15時間) いては、日常の授業 のとする。 が60点以上で単位 技術的な用語を覚え 分野のニュースを読 い。	(30時間)のための な修得となる。その ることで,ある程 むことに挑戦し,	予習復、意味を受験を表しています。	図、課題の 各到達目標 を書きができ 売むスピー の到達目のを利度のを利用にいて、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	解答作成時間,プレゼンテーション 項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。 ドを鍛え,単語を増やすことが必要		
授業の属 ['] ☑ アクティ	ィブラーニ	・・な・こ・・でな	445時間 (自学自習時間(15時間)ついまける。 (自然の表現と対すの) はまかられる。 (自然の表現と対すが) はまかられる。 (自然の) はまかられる。 (自然の) はまから (自然の) はまから (自然の) はまから (自然の) はまからない (自然の) はない (自然の) はまからない (自然の) はまからない (自然の) はない (自然の) はない (自然の) はない (自然の) はない (自然の) はない (自然の) はない (自	図15時間) ハでは、日常の授業 のとする。 対が60点以上で単位 技術的な用語を覚え 野のニュースを読 ハ.	(30時間)のための な修得となる。その ることで,ある程 むことに挑戦し,	予場度英と、過注のエ・・実施を表している。	翌、課題の 各到達目を きまれる の項ー品らの の項ー品らの の項ー品らの の項ー品らの の項ー品らの の項ー品らの のの項ー品らの でので で で ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	解答作成時間,プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え,単語を増やすことが必要		
授業の属。 ② アクティ 授業計画	ィブラーニ	 ・・な・こ・・でな 上 グ ・・な・こ・・でな 上 グ り 週 週 2 週 週 3 週 3 週 	245時間 (自学自習時間(15時間)ついまままでは、合計点がいられる。	図15時間) いては、日常の授業 のとする。 が60点以上で単位 技術的な用語を覚え 野のニュースを読 ・禁止事項につい	(30時間)のための な修得となる。その ることで,ある程 むことに挑戦し,	予場度英週注のエ・・実・・プ解習合の文ご意パ業そ 験そ レでと事夕製れ にれ ぜき	翌 各 y 書 さ と か	解答作成時間,プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え,単語を増やすことが必要		
授業の属。 ② アクティ 授業計画	イブラーニ	 ・・な・こ・・でな 上 グ ・・な・こ・・でな 上 グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	(45時間 (自学自習時間(15時間) (15時間) (図15時間) いては、日常の授業 のとする。 が60点以上で単位 技術的な用語を覚え 野のニュースを読 ・禁止事項につい	(30時間)のためのなりでは得となる。そのことで、ある程むことに挑戦し、	予場度英週注のエ・・実・・プ解理自習合の文でご意パ業そ 験そ レで解分を事夕製れ にれ ぜきでの	翌 各 かまむ の 頃一品ら 関ら こるき 研の 東 で	解答作成時間,プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数をできる。それらの英文して英作文ができる。かかわる英文の内容を理解できるパターンを利用して英作文ができるがよび実験手順の英文が理解できるパターンを利用して英作文ができるがなーンを利用して英作文ができるがよび実験手順の英文が理解できるのような表別を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を		
授業の属 図 アクティ 授業計画	イブラーニ	・・な・こ・・でな 中学の価が業ずる,区 時学の価が業ずる,区 り 1 3 3 4 5 6	245時間(自学自習時間(15時間) (15時間) (1	図15時間) いては、日常の授業 が60点以上で単位 が60点以上で単位 がが60点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 が50点以上で単位 が50点による で50点による で50	(30時間)のためのなりでは得となる。そのようことで、ある程むことに挑戦し、 遠隔授業対応 での英文を読む での での でいる	予場度英週注のエ・・実・・ブ解理自か各て習合の文ご意パ業そ 験そ レで解分る自,後 事夕製れ にれ ぜきでの・の導	翌 各 bまむ の 頃一品ら 関ら ンるき 研国 テ入 課 達 かピ 3 等ン やの わの テ・る 究際 一部 度 のを利 験文 背文 シレ に議 に手 でし 標 文用 にの 景の 割せ 関の 沿法 にの 景の ごせ 関の 沿法 においる いっぱい またい という にい またい という にい またい という という にい またい という にい またい という という という はい という にい またい という にい またい という にい またい という はい という はい という という はい という はい という にい またい という にい という にい またい という にい という にい という にい という という にい という という という という という という という という という とい	解答作成時間、プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要となる。とれらの英文して英作文ができる。とれらの英文の内容を理解できる。パターンを利用して英作文ができる。および実験手順の英文が理解できる。および実験手順の英文が理解できる。とを聞いて、おおよそのテーマを超いパターンを利用して英作文ができるともなりである。関連する英文から、関連する用語がお申込手順がわかる。った短いプレゼンテーションについまとめの構成を作成できる。		
授業の属 図 アクティ 授業計画	イブラーニ	・・な・こ・・でな 中学の価が業ずる,区 時学の価が業ずる,区 り 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	245時間(自学自習時間(15時間) (15時間) (1	図15時間) いては、日常の授業 が60点以上で単位 が60点以上で単位 がが00点以上で単位 がが00点以上で単位 がが0次期語を覚え かい ・禁止事項につい の英文を読む ・ で読む ・ で表現の では、 の表現の では、 のまれの では、 のま	(30時間)のためのなりでは得となる。そのようことで、ある程むことに挑戦し、 遠隔授業対応 での英文を読む での での でいる	予場度英週注のエ・・実・・ブ解理自か各て各て習合の文ご意パ業そ 験そ レで解分る自,自発復, 読を	翌 各 y まむ	解答作成時間、プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え、単語を増やすことが必要とを鍛え、単語を増やすことが必要となる。との内容を理解できる。それらの英文して英作文ができる。かかわる英文の内容を理解できる。かかわる英文の内容を理解できる。かかわる英文の内容を理解できる。かかり、とび実験手順の英文が理解できる。および実験手順の英文が理解できる。これを聞いて、おおよそのテーマを超いパターンを利用して英作文ができる。これを聞いて、おおよそのテーマを超いパターンを聞いて、おおよそのテーマを超いパターンを聞いて、おおよそのテーマを超いパターンを聞いて、おおよそのテーマを超いパターンを聞いて、おおよそのテーマを超いパターンを聞いて、おおよそのテーマを超いパターンを聞いて、おおよそのテーマを超いパターンを聞いて、おおよそのテーマを超いが、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文がの構成を作成できる。		
授業の属 図 アクティ 授業計画	イブラーニ	・・な・こ・・でな 上 グ 週 回 <td>445時間(自学自26年) (自学自26年) (自学自26年) (自学自26年) (15年) (154)</td> <td>図15時間) いては、日常の授業 が60点以上で単位 が60点以上で単位 がが60点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 が50点以上で単位 が50点による で50点による で50</td> <td>(30時間)のためのなりでは得となる。そのようことで、ある程むことに挑戦し、 遠隔授業対応 での英文を読む での での でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる</td> <td>予場度英週注のエ・・実・・プ解理自か各で各で各で名。習合の文ご意パ業そ験そしで解分る自、自発自復・読を</td> <td>翌 各 9表 の 頃一 品ら 関ら こるき 研国 テ入 テス テル 課 達 きス ・ マイ マレ の 標 でー</td> <td>解答作成時間、プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え、単語を増やすことが必要 実務経験のある教員による授助の内容を理解できる。それらの英文して英作文ができる。かかりる英文の内でできる。がターンを利用して英作文ができる。 および実験手順の英文が理解できるがターンを利用して英作文ができる。 ンを聞いて、おおよそのテーマを理ができる。 フを聞いて、おおよそのテーマを理ができる。 フた短いプレゼンテーションについまと短の構成を作成できる。 フた短いプレゼンテーションについた短いプレゼンテーションの発表を対して、フた短いプレゼンテーションの発表を対していていていている。 フた短いプレゼンテーションについた短いプレゼンテーションの発表を対していていていていていている。 フた短いプレゼンテーションの発表を対していていていている。 フた短いプレゼンテーションの発表を対している。 フた短いプレゼンテーションの発表を対している。 フた短いプレゼンテーションの発表を対していたが必要に対している。 フた短いプレゼンテーションの発表を対している。 またはいている。 フた短いプレゼンテーションの発表を対している。 マース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・</td>	445時間(自学自26年) (自学自26年) (自学自26年) (自学自26年) (15年) (154)	図15時間) いては、日常の授業 が60点以上で単位 が60点以上で単位 がが60点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 がが50点以上で単位 が50点以上で単位 が50点による で50点による で50	(30時間)のためのなりでは得となる。そのようことで、ある程むことに挑戦し、 遠隔授業対応 での英文を読む での での でいる	予場度英週注のエ・・実・・プ解理自か各で各で各で名。習合の文ご意パ業そ験そしで解分る自、自発自復・読を	翌 各 9表 の 頃一 品ら 関ら こるき 研国 テ入 テス テル 課 達 きス ・ マイ マレ の 標 でー	解答作成時間、プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え、単語を増やすことが必要 実務経験のある教員による授助の内容を理解できる。それらの英文して英作文ができる。かかりる英文の内でできる。がターンを利用して英作文ができる。 および実験手順の英文が理解できるがターンを利用して英作文ができる。 ンを聞いて、おおよそのテーマを理ができる。 フを聞いて、おおよそのテーマを理ができる。 フた短いプレゼンテーションについまと短の構成を作成できる。 フた短いプレゼンテーションについた短いプレゼンテーションの発表を対して、フた短いプレゼンテーションの発表を対していていていている。 フた短いプレゼンテーションについた短いプレゼンテーションの発表を対していていていていていている。 フた短いプレゼンテーションの発表を対していていていている。 フた短いプレゼンテーションの発表を対している。 フた短いプレゼンテーションの発表を対している。 フた短いプレゼンテーションの発表を対していたが必要に対している。 フた短いプレゼンテーションの発表を対している。 またはいている。 フた短いプレゼンテーションの発表を対している。 マース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・		
授業の属 図 アクティ 授業計画	イブラーニ	・・な・こ・・でな 上グ 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	445時間(自5時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間)))) には 15時間(15時間)) には 15時間(15時間) には 3番呼は まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	図15時間) いては、日本のでは、 15時間) いては、日本のでは、 15時間 日常の授業が 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を表 150点以上で単位を表 150点以上で 150点の 150	(30時間)のためのなりでは得となる。そのようことで、ある程むことに挑戦し、 遠隔授業対応 での英文を読む での での でいる	予場度英週注の エ・・ 実・・ ブ解理 自か 各て 各て 各原修 各習 合 の文ご 意パ 業そ 験そ レで解 分る 自 、 自発 自稿正 自復 、 読を	翌 各 5ま の 頃一品ら 関ら こくき 研国 テ入 テス テ作き テ	解答作成時間、プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え、単語を増やすことが必要とを鍛え、単語を増やすことが必要となる。との内容を理解できる。それらの英文して英作文ができる。かかわンを利用して英作文ができるが、プターンを利用して英作文ができる。かかり、とないまとの所でできる。というできるが、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、関連する英文から、できとめの構成を行成できる。これに短いプレゼンテーションについたまとめの構成をテーションについたまとめの構成をテーションについまとのの構成をテーションについたまとのできる。これに知いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。		
授業の属 図 アクティ 授業計画	イブラーニ	・・な・こ・・でな 上 グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	445時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(1	図15時間) いては、日本のでは、 15時間) いては、日本のでは、 15時間 日常の授業が 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を表 150点以上で単位を表 150点以上で 150点の 150	(30時間)のためのなりでは得となる。そのようことで、ある程むことに挑戦し、 遠隔授業対応 での英文を読む での での でいる	予場度英週注の エ・・実・・プ解理自か 各で各で各原修各 各習 合 の文ご意パ業そ 験そ レで解分る 自、自発自稿正自 自復 、 読を	翌 各 4表もの 頃一品ら 関ら こるき 研国 テステ作き テテ 親 達 きス	解答作成時間、プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要との内容を理解できる。それらの英文して英作文ができる。かかわる英文の内容を理解できる。かかわるを利用して英作文ができる。から、大塚中ンを利用して英作文ができる。というできるができる。というに短いプレゼンテーションについた。まとめの構成を作成できる。これできる。から、プレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。		
授業の属でアクティー授業計画	イブラーニ	・・な・こ・・では 上グ 週週週週間自準に認辞は、定分 ・・な・こ・・では 上グ 週週週週週週 111 1 週週週週週 日	445時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(1	図15時間) いては、日本のでは、 15時間) いては、日本のでは、 15時間 日常の授業が 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を表 150点以上で単位を表 150点以上で 150点の 150	(30時間)のためのなりでは得となる。そのようことで、ある程むことに挑戦し、 遠隔授業対応 での英文を読む での での でいる	予場度英週注の エ・・実・・プ解理 自か 各て 各て 各原修 各 各 自習 合 の文ご 意パ 業そ 験そ レで解 分る 自 ,自発 自稿正 自 自 ら復 , 読をと事夕 製れ にれ ぜきで の・の導 の表 のをで の の	習 各 v表 の 項ー 品ら 関ら こるき 研国 テ入 テス テ作き テテ 研 、 到 き さ	解答作成時間、プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要との内容を理解できる。とれらの英文の内容を理解できる。かかり、できるができる。かかり、できるが理解できる。から、関連する英文がの構成や用いる表現を増いて、おおよそののできる。とないプレゼンテーションについきまとめの構成を作成できる。った短いプレゼンテーションについたないプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。のある事柄の論文を検索できる。		
授業の属でフクティー・授業計画	ィブラーニ	・・な・こ・・では 上グ ・・な・こ・・では 上グ 週 週 月 夏 月 夏 月 夏 月 夏 月 夏 月 夏 月 夏 月 夏 月 夏 月 夏 月 夏	445時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(15時間(1	図15時間) いては、日本のでは、 15時間) いては、日本のでは、 15時間 日常の授業が 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を統 150点以上で単位を表 150点以上で単位を表 150点以上で 150点の 150	(30時間)のためのなりでは得となる。そのようことで、ある程むことに挑戦し、 遠隔授業対応 での英文を読む での での でいる	予 場 度英 しょ 週 注の エ・・実・・プ解理 自か 各て 各て 各原修 各 各 自 英習 合 の文 ご 意パ 業そ 験そ レで解 分る 自 , 自発 自稿正 自 自 ら 語復 , 読を と 事夕 製れ にれ ぜきで の・の導 の表 のをで の の の の	習 各 9表 の 項ー 品ら 関ら こるき 研国 テ入 テス テ作き テテ 研 論、 到 書む 到等ン やの わの テ・る 究際 一部 ニラー成る ー ー 究 文題 目 がピ 星 英利 験文 背文 ・シレ に議 に手 にド に・ママ や の の 標 でー 標 文用 にの 景の ョゼ し関の 沿法 沿を 沿り 短短 心 lst	解答作成時間、プレゼンテーション項目の到達レベルが標準以上であるきるようになる。ドを鍛え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要と数え、単語を増やすことが必要との内容を理解できる。それらの英文して英作文ができる。かかわる英文の内容を理解できる。かかわるを利用して英作文ができる。から、大塚中ンを利用して英作文ができる。というできるができる。というに短いプレゼンテーションについた。まとめの構成を作成できる。これできる。から、プレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。いプレゼンテーションができる。		

		14週		 自分の研究につい ⁻				主に論文で習得した英文パターンを参考にして,研究 の概要を作成できる.			
				自分	の研究についる	ての説明を英文で書	<	の概要を作成できる。 主に論文で習得した英文パターンを参考にして,研究 の概要を作成できる。			
	16週							S MIN C C O			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標											
分類				学習内容		学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社 科学	社会英語			英語運用能力向上のた	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。			4	後4,後9,後 10	
	科字		X		めの学習	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフラ イティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。			4	後14,後15	
分野横断的 能力	汎用的技	汎用的技能 汎用的技		技能	汎用的技能	用的技能 円滑なコミュニケーションのために図				3	
評価割合											
				課	題		発表		合計		
総合評価割合				60	0		40 100		100		
基礎的能力				2	5		15 40				
専門的能力				2	5		15 40				
分野横断的能力			10	0		10	20				